

平成 27 年 1 1 月定例会 一般質問事項

発言順位 1 19 番 高梨俊弘議員 (一問一答)

1 子育てと福祉施策の充実を

(1) 平成 27 年 4 月には、職員の努力によって待機児童をゼロにしている。しかし、年度途中の申請により待機児童が増えることも想定しているとのことだが、現状と課題について伺う。

(2) 「子ども・子育て支援新制度」により「小規模保育」「家庭的保育」「事業所内保育」「居宅訪問型保育」という 4 つの保育の運営が可能になった。このような保育事業の現状と課題について以下を伺う。

市内での「小規模保育」「家庭的保育」「事業所内保育」「居宅訪問型保育」の事業計画の現状と課題を伺う。

小規模保育導入にあたっての国からの補助制度の内容、市としての独自の加算制度があるのか伺う。

小規模保育導入では「(3 歳以降の預け先の)連携園の確保」が課題としてあるが現状を伺う。また、連携園の確保が難しいときは、5 年の経過措置期間があり、特例給付を受けた小規模保育施設が定員の範囲内で引き続き 3 歳以降の子どもを預かることが可能だとのことだが、見解を伺う。

小規模保育事業においては、すべての施設で保育士資格者を確保すべきだと思えるが見解を伺う。

小規模保育事業においては不安のある営利企業の参入推進ではなく、社会福祉法人など公共性の高い主体による設置を進めるべきだと思えるが見解を伺う。

(3) 平成 26 年 2 月に策定された磐田市幼稚園・保育園再編計画では、南御厨幼稚園は、施設の老朽化を踏まえ再編を検討するとのことである。平成 27 年度に方針を決定するとのことだが、どのような検討がなされているのか伺う。

- (4) 磐田中部幼稚園・磐田西幼稚園は施設の老朽化を踏まえ、再編を検討すると磐田市幼稚園・保育園再編計画で示されているが、検討状況について伺う。
- (5) 市は認証保育園に対して認可への移行支援を行っている。この間バディ幼稚舎が認可保育園になっているが現状と課題を伺う。
- (6) 高齢者の肺炎球菌性肺炎の予防を目的とした成人用肺炎球菌予防接種が平成26年10月より定期接種となった。平成27年度は平成28年3月31日現在の年齢が、65・70・75・80・85・90・95・100歳の方に対して実施している。

4月に対象者にお知らせを実施しているが、現在までの接種状況と課題について伺う。

個別通知を見ていなかったり、忘れていたりしているとの話を聞くと、県内では三島市が4月に続き、9月に再通知を実施している。対象者への再通知や広報が必要だと考えるが見解を伺う。

富士市、沼津市では国が定めた定期接種制度に加えて、65歳以上をすべての対象者として、助成制度を実施している。市としての考えを伺う。

2 学府一体校整備構想について

- (1) 学府一体校整備の工程では、優先度の高い中学校区として「豊田中学校区」と「向陽中学校区」を挙げている。具体的なスケジュールや地元協議について伺う。
- (2) 全国の小中一貫校の学校規模をみると施設一体型で中学校の学級数12学級から18学級の施設は全体の5%にも満たない。全体に学校規模が小さい傾向がみられる。磐田市の現状をみると適正規模と言われる12学級から18学級の学校は7校あり、城山中は25学級である。全国的な傾向からすると磐田市で行う一体校は、大規模校になり教職員間の意思疎通や実技系教室等の施設利用に制約が生じるなどの問題があると考えられる。一体校の適正規模についての見解を伺う。

3 磐田駅北口広場の整備について

- (1) 平成27年度末の完成を目指して磐田駅北口広場の整備が進められている。バス停等も整備され、今後多目的広場の工事が始まっていく。多目的広場は、イベントや市民が多目的に活用できる広場として期待されている。どのように活用していくのか、活用策や使用方法について伺う。
- (2) バスの待合所の風雨対策が必要だと考えるが検討されているのか伺う。
- (3) 今まで北口広場にあったモニュメント等の活用はなされるのか伺う。
- (4) 防犯カメラの設置を行うとのことだが、その他の防犯対策について伺う。